

# 神戸会場 プログラム

『まなごしの距離

～映像作家にとっての記録とは』

## 第一部

「本田裕信氏

日本アマチュア映像作家連盟 理事 (ドキュメント作品)」

○本田氏 映像「作品」上映

『神戸、港の祭り』(1960年、7分、8mm)

(神戸タワーや花電車が通る光景、元町通で行われた懐古行列や、神戸市役所にあるトーテムポール建立の記録映像を収めたフィルムです)

『1965年、さよなら神戸市電』(1972年、18分、8mm)

○本田氏 「ホームムービー」上映

『万博親子』(1971年、10分、8mm)

## 第二部

「唐津正樹氏 (映画監督、劇映画)」

○唐津氏 「ホームムービー」上映

『渡辺カヨ再会』(2002年、3分、8mm)

『岡藤テスト』(2002年、3分、8mm)

『唐津の岩倉旅行』(2002年、3分、8mm)

○唐津氏 映像「作品」上映

『座子寝』(1999年、3分、VHS→DV)

『団地』(1999年、8分、VHS→DV)

## 第三部

「藤原次郎氏 (映像画家、映像詩)」

○藤原氏 映像「作品」上映

『戦車メンの歌』(1975年、3分、8mm)

○藤原氏 「ホームムービー」上映

『戦車メンの歌 アウトテイク』(1975年、3分、8mm→DVD)

○藤原氏 映像「作品」上映

『風土樹』(2011年、3分、blu-ray)

## 第四部

対談「映像作家にとっての記録の価値とは」

本田氏 × 藤原氏 × 唐津氏

文化映画、映像画家、劇映画、三者三様のスタイルを持ち、なおかつ8mmフィルムの興隆、またその全盛期、そして衰退期と異なる時代を体験してきた映像作家が制作する映像「作品」。それらは「作品」という形で価値を持つ一方、被写体と撮影者との間に流れた時間の記録としての価値を持つものでもあります。そのような「映像作品が持つ価値の二重性」。そういった観点から、各々の映像作家が持つ作品制作に対する姿勢を話しあってもらうことで、映像で世界を記録するという営みやそれぞれが持つ映像(フィルム)に対するメディア観などについて考えてみます。

文化映画、劇映画、映像詩の領域で活躍され、三世代異なる時代を過ごした映像作家の「ホームムービー」と同時に彼らの「作品」を上映すること。そのように様々な映像「作品」も視点を変えれば、その見方は大きく変わります。

文化映画は「今」から見ても「昔」の神戸の風景がよく表されている貴重な記録映像に変わり、また、劇映画や映像詩も作家と被写体とのあいだで生じた「かつて・ここに・あった」記録となります。そのように、本上映会で様々な映像を「記録」として見る/残すことの意義を観客の方々と共に考えてゆくことで、この上映会が映画発祥の地としての神戸の活性化や3.11の関東東北大震災以後、見直されてきた記録を保存することの重要性を促す一助になればと思っています。

「本田裕信氏

(日本アマチュア映像作家連盟 理事、ドキュメント作品)」

1932年生まれ。1956年、8mmフィルムがダブル8からシングル8へと移行した時期から映像作品の自主制作を始める。その数は50本近くに到り、多くの作品が国内、国外のコンテストでの入選を果たしている。今回上映する『神戸港の祭』は神戸新聞際入選、『さよなら神戸市電』はニココンテスト入選、『港に生きる』はキャンコンテストに入選している。現在でもビデオ作品を旺盛に制作されている。

「唐津正樹氏 (映画監督、劇映画)」

1979年京都生まれ。大阪電気通信大学に進学し、映画監督・大森一樹に師事する。在学中より京都国際学生映画祭にスタッフと参加。2002年には原将人監督作品『MI・TA・RI』に編集助手として参加し、京都、東京の上映では映写助手として尽力した。大学卒業後、京都の映画サークル「町家プロダクション」に加わり、第一回CO2エキシビジョン助成作品である『赤い束縛』を制作。現在は最新作、神戸映画資料館製作作品『ベダストリアンデッキの対話(仮)』の編集中である。

藤原次郎氏 (映像画家、映像詩)

1955年、兵庫県但馬生まれ。大阪芸術大学 映像計画学科卒業。制作プロダクションで産業ビデオ・映画・TV番組を制作。1985年建築写真製作会社で建築写真撮影と建設工事記録ビデオの製作。2000年『映像伝承 内藤邸』でITVAビデオコンテスト(日本)でグランプリ受賞。2001年に「六甲の山荘」でワールド・メディアフェスティバル(独)金賞。テリーアワード(米)ファイナリスト受賞。現在は独立、ドキュメンタリー、建築、減りテージ、古民家再生記録、景観環境などの映像を制作。傍らで日常の情景風景をフォトログ「神の人の手の仕事」(<http://blog.zaq.ne.jp/towanoe2/>)を通して発表している。

第九回「ホームムービーの日2011 in 京都・神戸」

主催: HMD2011 in 京都・神戸 (安藤葉月/柴田幹太/和田泰典)

協力: いちなん/吉岡映像/大阪ドーナツクラブ/太田米男(大阪芸術大学)/神戸映画資料館